

28代目スレ 2009/03/08(日)

ラッシュ「聞かないの？何であんなことしたのか？」  
真龍「良いです。ラッシュが話したくなったらで」  
ラッシュ「ありがと」  
真龍「格好良かったですよ、今日のラッシュは」  
ラッシュ「どこが？無様に転がされてただけじゃん」  
真龍「それでも何度でも立ち上がるラッシュは格好良かったです」  
ラッシュ「そう・・・・・・・・君がいてくれてよかった」  
真龍「え？今なんて言いました？」  
ラッシュ「何でもない」  
真龍「気になります～。なんて言ったんですか？」  
ラッシュ「・・・それよりもさ、真龍」サワッ  
真龍「きゃっ、ダメですよ。  
エツィーラ先生も言ってたでしょ。大事無かったっていても安静にしてないと」  
ラッシュ「いいじゃん、自分の体ことは自分が一番分かってるよ。ダイジョブだって。  
なっ、いいじゃん、南極帰ってしばらくご無沙汰だったしさ」  
真龍「もうっ、そうやってすぐに誤魔化すんだから・・・」  
ラッシュ「ダメ？」  
真龍「・・・ラッシュは寝てください、  
今日は私が全部してあげますから」  
ラッシュ「良いの！」  
真龍「痛くて動けないでしょ。  
それに今日のラッシュは格好良かったですから。  
・・・ご褒美です」

なんというかスゴク良かった。

結局のところ何も解決はしていない。  
オレはファーストキスの味を思い出せないし、  
姉さんは初恋に破れ、  
伯父さんはもういない。

クォヴレーさんには一矢も報いることができず負けた。

それでも伯父さんは笑ってくれている気がする。

シュバルツバルト。本名マイケル・ゼーバツハ、  
元新聞記者。バツイチ。真実の探求者。  
ビッグデュオのドミュナス。  
姉さんの初恋の相手。  
本当はオレの伯父さんじゃなかった人。  
メリオルメッセじゃないのになぜか家で飯を食ってた人。  
今思い出せばおかわりの三杯目はそっと出してた人。  
優しくて大きな手のひらを持ってた人。  
オレの大好きな伯父さん。

さよなら、伯父さん。